

ニューヨーク市観光局が観光客向けのトラベルガイド 「ニューヨーカーのように歩くブルックリン」を発表

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オードス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY.
#ITSTIMEFORNYC

📌 ホテル、アトラクション、ダイニング、アート&カルチャー、地区（ネイバーフッド）など、ブルックリンの多文化的な魅力とローカルな体験を紹介する、新しいトラベルガイド

📌 ニューヨーク市の5ボロー（行政区）での旅にスポットを当てた「Get Local NYC〜ニューヨーク市を知り尽くそう〜」キャンペーンの一環として、アダムズ市長とニューヨーク市観光局が、第1弾としてブルックリンガイドを発表

📌 今後も、ブロンクス、マンハッタン、スタテンアイランド、クイーンズにフォーカスしたトラベルガイドを、毎月発表予定

ニューヨーク市の公式ツーリズム・マーケティング機関であるニューヨーク市観光局（正式英語団体名：NYC & Company、プレジデント&CEO：フレッド・ディクソン）は、3年ぶりの開催となった同局の年次総会で、新キャンペーン「Get Local NYC〜ニューヨーク市を知り尽くそう〜」を発表しました。その第1弾として「ニューヨーカーのように歩くブルックリン」と題したブルックリントラベルガイドを発行。今後は月一度のペースでニューヨーク市が管轄する残り4ボロー（行政区）のブロンクス、マンハッタン、スタテンアイランド、そしてクイーンズを掘り下げてご紹介いたします。観光客が戻りつつある中、ニューヨーク市観光局は管轄する5ボローの訴求をし続けることで、すべてのコミュニティが訪問客からの利益を享受できるようサポートします。

※新キャンペーン Web サイトはこちらから：[Get Local NYC](#)（英語のみ）

ニューヨーク市長のエリック・アダムスのコメント：「ブルックリンのエネルギーは比類がなく、ブルックリンの人々は常にニューヨーク市の中心的存在です。ブルックリン音楽アカデミーでショーを鑑賞したり、ブッシュウィックでストリートアートに触れたり、人気レストラン「Footprints Cafe」でラスタパスタ（ジャマイカ風パスタ）を食べたりと、ブルックリンには楽しみがたくさんあり、飽きることはありません。ローカルの人々が通う隠れた名店をたくさん紹介した「ニューヨーカーのように歩くブルックリン」ガイドを発表できることにワクワクしています。あなたもブルックリンの虜になるはずですよ！」

ニューヨーク市観光局 プレジデント&CEO のフレッド・ディクソンのコメント：「ブルックリン植物園で桜並木を散策したり、コニーアイランドの遊歩道で「Nathan's Famous」のホットドッグを食べたりと、ブルックリン訪問は特別な体験となるはずですよ。世界レベルのコレクションを誇るブルックリン美術館から、リトル・カリビアンやベッドフォード＝スタイベサントといったブラック・カルチャー系ショップ&レストランまで、見どころは多岐にわたります。ブルックリンでは、ニューヨーカーのように街を歩き、食事やショッピングをし、ローカルな生活を体験できる素晴らしい場所がたくさんあります。みなさま、<ニューヨーカーのように歩くブルックリン>へようこそ！」

●ブルックリントラベルガイド●

※下線がある場所や名称はクリックすると nycgo.com の詳細ページ（英語のみ）に移動します。

マンハッタンから地下鉄やタクシー、フェリーで気軽にアクセスできるブルックリンには、コニーアイランドやブルックリン・ブリッジといった世界的に有名な観光名所から、ブラック・ヒストリーを学び、本場のエスニックフードを楽しみ、また 19 世紀末～20 世紀初頭の美しいままに保存された歴史的建造物を訪れるなど、あらゆる魅力が凝縮しています。ブルックリンはおよそ 270 万人が住む、ニューヨーク市内で最も人口の多い地区で、昨年ニューヨーク市長に就任したエリック・アダムス氏の自宅もベッドフォード＝スタイベサントにあります。

ホテル: ブルックリンに泊まるなら、ダンボであれば、ウォーターフロントビューが美しい「1 Hotel Brooklyn Bridge」といったラグジュアリーホテルから、ウィリアムズバーグにある「Wythe Hotel」、「The Hoxton」、「Hotel Indigo」、「Hotel Le Jolie」、「The William Vale」などのブティックホテルまで、様々なタイプのホテルがあります。また、ダウントウンには「New York Marriott at the Brooklyn Bridge」や、「Holiday Inn Brooklyn Downtown」、「Fairfield Inn & Suites」、「Hilton Brooklyn New York」、「Ace Hotel Brooklyn」、「Nu Hotel」などがあります。ベッドフォード＝スタイベサントには、「The Brooklyn」、「Hotel RL Brooklyn」、「Best Western Plus Arena」があり、ブッシュウィックには「Bklyn House Hotel」があります。

レストラン: ブルックリンには、ミシュラン星付きレストランの「Aska」や、ヴィーガン専門の「Vspot」といった若者向けカフェ、サンセットパークにあるアジア料理やラテン料理など家族経営の小さなエスニックフード・レストラン、グリーンポイントにあるポーランド料理店、フラットブッシュ（別名リトル・カリビアン）にあるカリブ料理など、何千軒ものレストランがあります。また、ブルックリンでは美味しいピザ屋は街の至るところにあり、「Hometown」や「Pig Beach」といった大人気 BBQ レストランをはじめ、いまやバーベキュー料理はブルックリンの名物となっています。そしてブルックリンは今年、食のオスカーともよばれる「ジェームス・ビアード・アワード」にて、クラウンハイツにある「Ursula」や歴史あるステーキハウス「Gage & Tollner」など、8 店のノミネートを獲得しました。

見どころ: ブルックリンには、コニーアイランドやブルックリン・ブリッジなど、ニューヨークの有名な観光スポットがあります。建築マニアなら、19 世紀末～20 世紀初頭のブラウンストーン（褐色砂岩）の建物が立ち並ぶベッドフォード＝スタイベサントやパークスロープの歴史地区を散策するのがオススメです。文化に興味がある方は、ブルックリン博物館やブルックリン音楽アカデミーを訪れてみてはいかがでしょうか。プロスペクトパーク、グリーンウッド墓地、春の桜で有名なブルックリン植物園などの緑地は、自然愛好家の心をくすぐることでしょう。

ナイトライフ: インディー・ロックやフォークシンガーファン、ダンスミュージック好きなど、ブルックリンには様々なタイプのナイトライフが揃っています。ベッドフォード＝スタイベサントにある「Sugar Hill Supper Club」では、ジャズやブルースだけでなく、DJ ライブもあり、エリック・アダムス市長も常連として名を連ねています。ブッシュウィックには、ロックやインディーミュージック好きの新スポットとなった「Brooklyn Made」、屋内外で楽しめるクラブ「Nowadays」、3 階建てのダンスフロアとステージを

ニューヨーク市観光局

日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ

およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オードス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY.
#ITSTIMEFORNYC

ニューヨーク市観光局

日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ

およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オーダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

備えたアンダーグラウンドミュージック好きが集まるクラブ「Elsewhere」などがあります。パークスロープにある「Barbès」は、ジャズからワールドミュージックまで、幅広いジャンルの音楽が楽しめる小さなバーです。ウィリアムズバーグには、カントリーミュージックやルーツミュージックが楽しめるカジュアルなバー「Skinny Dennis」や、「Brooklyn Steel」や「Music Hall」といった、ロックが楽しめるクラブもあります。グリーンポイントには、ポーランド政府所有の建物のボールルームを改修したクラブ「Warsaw」があり、プリンツやキルバサなどのポーランド伝統料理を食べながら、ロックが楽しめる唯一のクラブです。

LGBTQ+: ブルックリンは、カップルが手をつないで街を歩いたり、プライドパレードに参加したり、あるいは家庭を築いたり、LGBTQ+のニュー Yorker たちを歓迎し続けてきた街です。ブルックリンのゲイバーやダンスクラブでは、ドラッグクイーン・ショー、カラオケ、コメディ、そしてファビュラスなダンスパーティーなどたくさんのイベントを開催しています。ベッドフォード＝スタイベサントには、ミュージック&ライブアート・スペース「C'mon Everybody」、パークスロープには、カジュアルなレズビアンバー「Ginger's Bar」、サンセットパークでは、ラテン系の人々で賑わう「Xstasy Bar & Lounge」、そして、ウィリアムズバーグには「Metropolitan and Macri Park」など、LGBTQ+が楽しめるスポットがたくさんあります。また、ブッシュウィックには、テキディスコのダイバー「Happyfun Hideaway」、占星術をテーマにしたバー「Mood Ring」、ダンスクラブ「The Vault」、「House of Yes」、そのほか、「Dirty Circus」や「Cirque Nouveau」などテーマショーが楽しめるナイトスポットがあります。

地区（ネイバーフッド）: ブルックリンはニューヨークで最も人口の多い行政区で、75 以上の異なるコミュニティに 270 万人が暮らしています。ここでは、その中からいくつかの地区（ネイバーフッド）をハイライトしてご紹介します。

●**ブルックリン・ブリッジ（THE BROOKLYN BRIDGE）**、**ダンボ（DUMBO）**、**ブルックリンハイツ（BROOKLYN HEIGHTS）:** 「人生でやりたいことリスト」にスリリングな体験を加えたい人は、ぜひブルックリン・ブリッジを歩いて渡ってみましょう。1883 年に開通した当時は、世界最長の吊り橋を誇り、当時はその技術に誰もが驚きました。高くそびえるゴシック様式のアーチと繊細なケーブルが織り成す美しさは、今もなお人々を魅了し続けています。地下鉄でブルックリン側に行き（A/C 系統でハイ・ストリート駅下車）、マンハッタンに向かって歩いて戻ると、最高の景色が楽しめます。

ブルックリン・ブリッジまで来たら、次の 2 つのエリアにも、ぜひ行ってみましょう。まず、**ブルックリンハイツ（2/3 系統でクラーク・ストリート駅下車）**では、**ブルックリンハイツ・プロムナード**を散策し、猫カフェ「Brooklyn Cat Café」で猫たちと遊び、19 世紀に反奴隷運動の中心地となりエイブラム・リンカーンも訪れた**プリマスチャーチ**（中庭にはリンカーンの彫刻があります）に立ち寄ってみましょう。**モンタギュー・ストリート**には、ブティック「Tango」や、高級化粧品を取り扱う「City Chemist」、そしてジュエリーショップ「Montague Jewelers」など、様々な店が立ち並びます。さらに近くには、ニューヨーク市地下鉄や、バス、通勤鉄道などの歴史的展示物を見学できる**ニューヨーク交通博物館**があります。

そして、もう 1 つのエリア、**ダンボ**へはブルックリンハイツから徒歩、または地下鉄（F 系統でヨーク・ストリート駅下車）で行くことができます。ダンボとは、**Down Under the Manhattan Bridge Overpass**（マンハッタン橋高架道路下）の頭文字をとったものです。ウォーター・ストリートとワシントン・ストリートの交差点は、赤レンガの建物に囲まれて美しいマンハッタン・ブリッジが収まる、とても有名なフ

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY.
#ITSTIMEFORNYC

オト・スポットがあります。その他の見どころは、ブルックリン・ブリッジ・パークや、レトロなメリーゴーランド「ジェーンズ・カルーセル」、そして4月から10月の週末に屋外で開催されるブルックリン・フリーマーケットなどです。他にも、行列必至の人気ピッツェリア「Grimaldi's Pizzeria」、チョコレート専門店「Jacques Torres Chocolates」、書店「POWERHOUSE Arena bookstore」、シューズ専門店「John Fluevog Shoes」、アンティークジュエリーショップ「Thea Grant」など、ユニークな店が多数あります。ダンボ・ピア（桟橋）には、独立戦争中の1776年8月にブルックリンの戦いに敗れたジョージ・ワシントンとその軍が川を渡って逃げた様子を描いた石標があります。桟橋からは、ウィリアムズバーグや、ロウアー・マンハッタン、マンハッタン 34th ストリートへ発着するフェリーが運航しています。

● コニーアイランド (CONEY ISLAND)、ニューヨーク水族館 (NEW YORK AQUARIUM)、ブライトンビーチ (BRIGHTON BEACH) : ビーチを楽しむのは夏だけではありません。世界的に有名なコニーアイランドからブライトンビーチまでのボードウォーク（遊歩道）は、一年中いつでも散策が楽しめます。

D/F/N/Q 系統のいずれかの電車で終点のスティルウェル・アベニュー駅まで行き、サーフ・アベニューを渡れば、コニーアイランドに到着。「Nathan's Famous」でホットドッグを買って、ワンダー・ホイール（観覧車）や、レトロな木製ジェットコースター「サイクロン」、メリーゴーランド、キッズ用アトラクション、そしてゲームなどなど、思う存分エンジョイしましょう。（アトラクションについては、イースターからメモリアル・デー（5月最終月曜日）までは毎週末、メモリアル・デーからレイバー・デー（9月第一月曜日）までは毎日、そしてレイバー・デーからハロウィーンまでは毎週末営業）

夏は大西洋のビーチで泳ぎましょう。オフシーズンは、赤い塔が目印の「Parachute Jump Tower」でセルフィーを撮り、桟橋を歩いて、地元の人々と交流してみるのも良いでしょう。4月から9月にかけては、ニューヨーク・メッツ傘下のマイナーリーグ、ブルックリン・サイクロンズの試合観戦もオススメです。

ニューヨーク水族館では、ペンギンやアシカを見ることができます（チケットは要予約）。ボードウォークをさらに東に10分ほど歩くと、ブライトンビーチに到着します。ロシア人街として知られるこの街には、ウクライナ、グルジア、アゼルバイジャンなど旧ソ連諸国からの移民や、1970年代から80年代にかけてソ連の弾圧から逃れたユダヤ人らが住んでいます。ロシアがウクライナに侵攻した際は、ウクライナの国旗を掲げてウクライナを支援する人々も多かったです。ボードウォーク沿いにあるカフェでボルシチや、ペルメニ、ヴァレーニキといった餃子風ロシア料理を食べて、ブライトンビーチ通りを散策するのがオススメです。その後は、B/Q系統の地下鉄でマンハッタンに戻るか、夜まで滞在して伝説のナイトクラブ「Tatiana」でディナー＆エンターテインメントを楽しむのも良いでしょう。

● パークスロープ (PARK SLOPE)、プロスペクトハイツ (PROSPECT HEIGHTS)、クラウンハイツ (CROWN HEIGHTS) : 緑豊かで静かな通りに、美しく保存されたブラウンストーン（褐色砂岩）やライムストーン（石灰岩）の邸宅が建ち並ぶパークスロープ。そのすぐそばに、セントラルパークの設計者であるオルムステッド&ヴォークスによって設計された公園、プロスペクトパークがあります。ここは都会の中心にもかかわらず豊かな自然に囲まれていて、森林や草原での散策や、1周 3.5マイル（約5.6km）の舗装道でウォーキングやジョギング、サイクリングなどを楽しめます。また、パー

ドウォッチングをしたり、動物園やスケートリンク、湖を訪れたり、暖かい季節には地元の人々が集まりドラムを叩いて踊る**ドラマーズ・グローブ**に立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

公園ノエントランスは数か所ありますが、**グランド・アーミー・プラザ**が正面入口で、南北戦争における北軍勝利を記念したボザール様式の凱旋門が目印です（2/3 系統のグランドアーミー駅で下車）。土曜日には**ファーマーズ・マーケット**が開かれ、向かい側には荘厳な**公立図書館**があります。

ニューヨーク市観光局

日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ

およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

プロスペクトハイツのイースタン・パークウェイ沿いにある図書館の隣には、**ブルックリン美術館**と**ブルックリン植物園**があります。美術館の代表的な作品は、20 世紀を代表するフェミニストの作品「The Dinner Party」や多文化的な野外彫刻「OY/YO」など。植物園では、盆栽コレクションや日本の築山林泉庭など、一年を通してさまざまな景色が楽しめますが、春は水仙の丘や藤棚など格別に美しく、満開の桜並木では風に散った花びらが地面に敷き詰められ、日本の花見の風習を楽しむことができます(入場チケットは要予約)。ブルックリン美術館とブルックリン植物園へは、2/3 系統のイースタン・パークウェイ駅が最寄り駅となります。

近くの**ヴァンダービルト・アベニュー**には、おしゃれなアフタヌーンティーが楽しめる「**Brooklyn High Low**」やフライドチキンとコーンブレッドが美味しい「**Mitchell's Soul Food**」、タイ料理店「**The Nuaa Table**」など、バーやショップ、カフェが軒を連ね、活気に満ちています。

クラウンハイツは、カリブ系やアフリカ系のニューヨーカーが多く、多文化が共存する地域です。また、ユダヤ教のハシディ教徒も多く、ユダヤ製品店やコーシャマーケットがあり、ルバビッチ正教会の世界本部があります。**ブルックリン子供博物館**は、子供たちが夢中になって遊べる絶好の場所です。歴史好きなら、ニューヨークで奴隷制度が廃止された 11 年後の 1838 年に設立された歴史的な黒人コミュニティ、**ウィークスヴィル**を訪れるとよいでしょう。ショッピングなら、ブティック「**Marche Rue Dix**」、マンガ・コミック誌なら「**Anyone Comics**」、アフリカンファッションやジュエリーをお求めなら「**Calabar Imports**」がオススメです。近隣のレストランでは、ラテン系であれば「**La Napa**」、セネガル料理なら「**Joloff**」、エチオピア料理・ヴィーガン料理なら「**Ras Plant Based**」があります。

● **ベッドフォード = スタイベサント (BEDFORD-STUYVESANT)** : ベッドフォード = スタイベサント (通称 = ベッドスタイ) では、伝説のラッパー、ビギー・スモールズ (ノトリアス・B.I.G.) が描かれた **ウォールアート** 前でセルフィーを撮ったり、スパイク・リー監督の代表作『**ドゥ・ザ・ライト・シング**』の撮影地を訪れたり、19 世紀末のレンガとブラウンストーン造りの美しい建築や邸宅を楽しむことができます。ベッドスタイへは G 系統のベッドフォード・ノストランド駅で下車。**トンピンス・アベニュー** 近くには、「**Peace and Riot** (衣料品・ギフト・アート)」、「**Byas & Leon**」(衣料品)、「**Ancient Blends Apothe'Care**」(紅茶・植物由来のパーソナルケア)、「**Brown Butter**」(ビスケット・チキン & ワッフル)、「**Bed-Vyn Brew**」(パブ)、「**The Word Is Change**」(書籍) など、小さいながらも活気ある店がたくさんあります。この周辺では、アフリカ系衣料品を扱う「**Moshood Creations**」やハイチ料理を扱う「**Grandchamps**」もぜひチェックしてみてください。

● **フラットブッシュ (FLATBUSH) / リトル・カリビアン**: ハイチ、トリニダード、ジャマイカなどの島々からの移民により、**フラットブッシュ**と**プロスペクト・レファーツ・ガーデン**、そしてその周辺地域は、ニューヨークの**リトル・カリビアン**と呼ばれるようになりました。ボブ・マーリー (レゲエ歌手) やトゥーサン・

ルヴェルチュール（ハイチの独立運動指導者）にちなんで名付けられた通りを歩きながら、食事やナイトライフ、ショッピング、文化的アトラクションを通じて、この地区の雰囲気をご存分に感じてみましょう。**リトル・ハイチ**に行きたければ、2/5 系統でチャーチ・アベニュー駅、ピバリー・ロード駅、ニューカーク・アベニュー-リトル・ハイチ駅で下車が便利です。

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オーダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

食を通してカリブ海の島々を体験しよう: トリニダード料理なら「Trini Breakfast Shed」や「Bake & Things」、ハイチ料理ならクレオール語で「友達」を意味する「Zanmi」、バルバドス料理なら「Culpepper's」、そして、グレナダ料理なら「MCG Grand Cafe」はいかがでしょう。さらに、「Errol's」ではジャマイカのパティ、「Immaculee」ではハイチのパティを、「Fisherman's Cove」と「Peppa's」ではジャークチキン、「Mangoseed+ Zurilee」ではフュージョン料理を、カリブスタイルの Pasta=ラスタ Pasta が食べたいなら人気レストラン「Footprints Cafe」と、チョイスは無限に。スイーツなら、3 代続くオーナー経営の「Allan's Bakery」、ラムバーをお探しなら「The Rogers Garden」へ、カリブ風タパスとカクテルを楽しむなら「Sip Unwine」、そしてドレスコードのあるフォーマルなレストラン & ラウンジをお探しなら、「Caribbean Social」がオススメです。

ショッピングスポットをお探しであれば、衣類やパーソナルケア用品、ジュエリーなどを扱う屋外バザール「Flatbush Caton Market」、スニーカーやストリートウェアなら「WOODstack」、音楽をお探しなら「African Record Centre」、アフロセントリックなファッションやアクセサリー、パーソナルケア用品などであれば「Tafari Tribe」、ヘアケア用品なら「Paris Beauty Supplyz」など、様々なお店があります。

カリブ海の文化やアート、食などを紹介する複合的ベンチャー施設「caribBEING」もぜひチェックしてみてください。また、**公立図書館・フラットブッシュ分館のカリブ海文学文化センター**での展示品もぜひ機会があればご覧になってみてください。そして、この地区で最も有名なスポットである**キングス・シアター**もお見逃しなく。1929 年建設の劇場を改装したキングス・シアターでは、トリー・エイモス、セドリック・ジ・エンターテイナー、ジ・アヴェット・ブラザーズなどの大物アーティストによるライブパフォーマンスや、映画上映、コメディ、ダンスなどのイベントが開催されています。

●**フォートグリーン (FORT GREENE) と クリントンヒル (CLINTON HILL)**: この地区には、演劇、ダンス、映画、ライブミュージックなどが楽しめる芸術劇場**ブルックリン音楽アカデミー**や、有名作家の講演、ワークショップ、子供向けイベントを開催し、カフェやバー、書店、図書館などがある「The Center for Fiction」など、ブルックリンの魅力がたくさん集まっています。アクセスは、2/3/4/5/D/N/Q/B 系統でアトランティック・アベニュー-パークレイズ・センター駅、または C 系統でラファイエット駅にて下車ください。また、**ブルックリン・ネッツ**の本拠地である**パークレイズ**では、NBA のバスケットボールの試合を観戦することもできます。

フォートグリーン・パークは、セントラルパークの造園家オルムステッド & ヴォーによって設計された公園で、園内には金メッキ時代の建築家スタンフォード・ホワイトが、独立戦争中にイギリス船で死亡した 11,500 人以上のアメリカ人捕虜を悼み建てた記念塔もあります。建築好きの方には、イタリア様式やボザール様式の邸宅や別荘、精巧な柱や石造りが美しい長屋などが立ち並び、**クリントン・アベニュー**や**ワシントン・アベニュー**沿いの散策がオススメです。

さらに、「Greenlight Bookstore」や「Jill Lindsey boutique」など、地元に着したショップにも立ち寄ってみては。グルメな方には、中東料理の「Miss Ada」、イタリア料理の「Locanda Vini & Olii」、ネルソン・マンデラ氏を称える南アフリカ料理の「Madiba」がイチオシです。

●サンセットパーク (SUNSET PARK) と グリーンウッド墓地 (GREEN-WOOD CEMETERY) :

ブルックリンのチャイナタウンとしても知られるサンセットパーク。7 番街と 8 番街にはアジア系のレストランやマーケットが集まっています。一方、4 番街と 5 番街エリアでは、ラテン系コミュニティが集まり、活気に満ちています。この周辺を散策するなら、D/N/R 系統で 36 番街駅、または R 系統で 45 番街駅、あるいは N/R 系統で 59 番街駅にて下車が便利です。また、58 番街のブルックリン・アーミー・ターミナルの埠頭からは、ロウワーマンハッタン行のフェリーと、クイーンズのロッカウェイビーチへ向かうフェリーが発着しています。

お食事については、飲茶なら「Pacificana」か「East Harbour」、シーフードなら「Lucky Eight」、タピオカミルクティーなら「Tiger Sugar」、四川料理なら「Chuan Tian Xia」、美味しいバインミーサンドなら「Ba Xuyen」（ぜひアボカドシェイクと一緒に）でお楽しみいただけるはず。ラテン料理なら、「Tacos El Bronco」や「Tacos Matamoros」、あるいは「Maria's Bistro」に行ってみてはいかがでしょうか。さらに、バー & プールホールなら「Ha-Weeda Tavern」、フレンドリーなカクテルバーをお探しならば「L'Wren」がオススメです。

グリーンウッド墓地は 1838 年に建てられ、約 60 万人の魂が永眠しており、ブルックリンで最も美しい公園のひとつとしても知られています。478 エーカーもの広大な敷地には、4 つの池、8,000 本の樹木、数百点もの記念碑や芸術作品があり、彩鮮やかなインコの住処を含む 185 種の鳥類が生息しています。ここには、南北戦争の退役軍人や 9.11 の犠牲者、芸術家のジャン=ミシェル・バスキア、作曲家のレナード・バーンスタインなど、さまざまな人々が永眠しています。ぜひ、ブルックリンで一番高い場所となるバトル・ヒルへ行き、ミネルヴァの像のとなりから、自由の女神を眺めてみましょう。

●ベイリッジ (BAY RIDGE) : ここベイリッジと隣のベンソンハーストは、映画『サタデー・ナイト・フィーバー』の舞台となった場所です。ヴェラザノ・ブリッジの景色を眺めたり、69 番街の棧橋で漁師や地元の人々と交流や、オウルズヘッド・パークや夕日で有名なショア・パークウェイでの散策をお楽しみください。「Tanoreen」では中東料理を、「Gino's」ではクラシックなイタリア料理、「Leske's Bakery」ではペストリーをお楽しみください。最寄り駅は、R 系統のベイリッジ・アベニュー駅です。

●キャロル・ガーデンズ (CARROLL GARDENS) , ボーラムヒル (BOERUM HILL) , コブルヒル (COBBLE HILL) : F 系統のキャロル・ストリート駅で下車し、キャロル・ガーデンへ。映画『月の輝く夜に』の撮影場所として有名なイタリア人街ですが、現在はおしゃれなカフェやブティックが多い街としても知られています。近くのボーラムヒル、コブルヒルと合わせた 3 つの地区を総称して「BoCoCa」と呼びます。お食事については、ピザであれば「Lucali」、エッグクリームなら「Brooklyn Farmacy」、フライドチキンなら「Buttermilk Channel」がオススメです。ショッピングなら、「Foyer Vintage」（衣類とコレクター品）、「Article&」（ブティック）、「Soula Shoes」「Written by Forest」（ジュエリー）、「Runnin' Wild Kids」（おもちゃ・靴）などはいかがでしょうか。さらに、「The Brooklyn Strategist」ではゲームをしたり、「Books Are Magic」では、運が良ければ、この書店を運営する小説家のエマ・

ニューヨーク市観光局

日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company

c/o 株式会社ソロ

T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆

japan-trade@nycgo.com

yamada@soloinc.jp

M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ

およびプレス担当

NYC & Company

c/o 株式会社オードス

T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和

nycgo_pr@audacejapan.com

ito@audacejapan.com

M 090-6566-6535

nycgo.com

twitter.com/nycgo

facebook.com/nycgo

instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY.
#ITSTIMEFORNYC

ストラウブに会えるかもしれません。このエリアに宿泊するなら、開業したばかりの「**Ace Hotel Brooklyn**」に泊まるのも良いでしょう。

● **レッドフック (RED HOOK)** : ウォーターフロントにあり、かつては労働者階級が住んでいたこの地区には、古いレンガ造りの倉庫や、味のある建物や看板がまだ残っています。ニューヨークらしい景色をお望みなら、**ルイ・ヴァレンティノ・ジュニア・ピア** (棧橋) から眺める、自由の女神像の景色がイチオシです。お食事は、「**Red Hook Lobster Pound**」や、「**Hometown Bar-B-Que**」、そして、「**Steve's Authentic Key Lime Pie**」がオススメです。また、ビール&ハンバーガーを楽しむならぜひ「**Jalopy Tavern**」へ。所狭しと雑貨が並ぶブルックリンのランドマーク的なバー「**Sunny's Bar**」ではライブ演奏をお楽しみください。レッドフック IKEA へは、夏シーズンであればマンハッタンからフェリーが運航しており、地下鉄であれば F/G 系統の **スミス・ストリート** 駅で下車し、そこからシャトルバスが運行しています。

● **ブッシュウィック (BUSHWICK)** : L 系統の **ジェファーソン・ストリート** 駅で下車し、ストリートアートとラテン料理で有名な **ブッシュウィック** を訪ねてみましょう。お食事は、プエルトリコ料理なら「**La Isla Cuchifritos**」、コロンビア風スイーツなら「**Love Nelly**」、ドミニカ料理なら「**Alex Luncheonette**」、エクアドル料理なら「**El Encebollado de Rossy**」、ベネズエラ料理なら「**Arepera Guacuco**」、ドミニカスイーツなら「**Angela's Bakery**」、そのほかにも「**Millie's Cuban Café**」や「**Mesa Azteca**」など、お好みに合わせて様々なラテン料理のチョイスができます。そして、15 年以上も前にブッシュウィックを「グルメの街」として世に知らしめた、薪焼きピザの名店「**Roberta's**」もお忘れなく。さらに、バイリンガル書店 & コミュニティーセンターの「**Mil Mundos**」、ファッションであれば「**Finn Vintage**」や「**Chess and the Sphinx**」などがあります。

カラフルな **ウォールアート** に興味があるなら、トラウトマン、スター、ワイコフなどの通り沿いの建物に注目してみてください。

● **ウィリアムズバーグ (WILLIAMSBURG)** : 今やニューヨークの新トレンド発信地として知られる **ウィリアムズバーグ**。マンションやギャラリー、高級レストランが立ち並び、街の雰囲気はかつてから様変わりしましたが、観光で訪れても楽しめる街です。L 系統の **ベッドフォード・アベニュー** 駅で下車し、「**Brooklyn Brewery**」や「**Blue Bottle Coffee**」、「**Llama Inn**」(ペルー料理)、「**Milk Bar**」(スイーツ)、「**Van Leeuwen Ice Cream**」、「**Brooklyn Bowl**」(ボーリング場 & ライブミュージック)、などの人気店をぜひチェックしてみてください。4~10 月には、ニューヨークの名物イベントである屋外グルメフードマーケット「**スモークスバーグ**」も開催されます。また、ドミノシュガーの精錬工場の跡地に作られた **ドミノパーク** でウォーターフロントの景色を楽しんだり、コミュニティ活動の拠点となっている **マッカレンパーク** でローカルの人々と交流するのもおすすめです。ジュエリーをお探しなら「**Catbird**」や「**Scosha**」、古着ならこのエリアに建ち並ぶ「**Antoinett**」、「**L Train**」、「**Chickee's**」、「**Beacon's Closet**」、「**Stella Dallas Living**」、「**Buffalo Exchange**」、そして「**Awoke**」など、たくさんあります。

● **グリーンポイント (GREENPOINT)**: グリーンポイントには、アートや話題のレストラン・バーだけでなく、ポーランド系の書店や教会、ベーカリーなど、昔ながらのポーランド移民の街並みも残っています。グルメも、「**Polka Dot**」のピエロギやソーセージ、「**Karczma**」のホワイトポルシチ、行列に並んでも食べたい「**Peter Pan**」のドーナツなどがあります。他にも、**WNYC トランスミッターパーク** の川沿いを散

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オーダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

策したり、カジュアルなバー「Lake Street Bar」でビールを飲んだり、楽しいことはたくさん。さらに、料理本専門書店とカフェが併設された「Archestratus」、ハンドメイド・ファッションの店「Brother Vellies」、日用品やギフト、衣料品を取り揃える「Lockwood」など、個性的なお店がたくさんあります。グリーンポイントへは、G 系統でグリーンポイント・アベニュー駅にて下車してください。

※ブルックリンについてさらに詳細を知りたい方は→ [BROOKLYN LIKE A NEW YORKER](#) (英語のみ)

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オーダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY.
#ITSTIMEFORNYC

ニューヨーク市観光局 (NYC & Company)

ニューヨーク市にある 5 つの行政区 (ブロンクス、ブルックリン、マンハッタン、クイーンズ、スタテンアイランド) 全域の観光推進および経済発展、そしてイメージ向上を目的とした、ニューヨーク市の公式ツーリズム・マーケティング機関です。公式 HP: www.nycgo.com

ブルックリンおよび周辺エリアの画像データ:

<https://spaces.hightail.com/space/FTXYwPnPhW>

「ニューヨーカーのように歩くブルックリン」キャンペーン画像:

<https://spaces.hightail.com/space/oOwdrvXKL>

これらのメディア資産をダウンロードすることにより、お客様は以下の条件に同意したものとみなされます:

ニューヨーク市観光局 (NYC & Company) は、プレス用途に限り、その使用を許諾しています。提供するメディア資産のすべてまたは一部を報道目的以外に使用すること (メディア資産の複製、配布、販売を含むが、これに限定されない) は禁止されています。また、ニューヨーク市観光局の許可なく、メディア資産を商業目的で使用したり、いかなる形でもリブランディングすることはできませんのでご注意ください。